

大学コンソーシアムひょうご神戸
2024年度 第2回 FD・SD委員会
議事次第

日 時：2024年9月3日（火）持ち回り開催

回答期限：2024年9月10日（火）正午

委員校：甲南大学（委員長校）、神戸市看護大学（副委員長校）

芦屋大学、関西国際大学、関西学院大学、関西学院短期大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学
神戸学院大学、神戸国際大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学、
神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸薬科大学、頌栄短期大学、園田学園女子大学、
園田学園女子大学短期大学部、宝塚医療大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫教育大学、
兵庫県立大学、流通科学大学

計 25 大学

記

I. 審議事項

1. 令和6年度私立大学等改革総合支援事業（タイプ3プラットフォーム型）への申請に伴う
達成状況評価シートの作成について（資料1）
標記に関し、中村理事長から各事業委員会に、参考資料のとおり依頼があった。
資料1について、「実績」及び「評価・備考」欄に記載の内容で提出することにつき審議。
なお、「評価・備考」欄に記載の評価（選択肢：S A B C D）の基準については、理事長からの依頼
文書（資料2）参照。

II. 連絡・調整事項

- 1 2024年度 FD・SD委員会開催予定と主な議題について
第3回委員会 12月：2024年度 自己評価（案）について
第4回委員会 2月：2025年度 事業計画・予算案（案）について
第5回委員会 3月：2024年度 事業報告・決算（案）について

以上

<資料一覧>

- ・資料1：【FD・SD委員会】2024年度中長期計画の達成状況評価シート（様式3）
 - ・資料2：「令和6年度私立大学等改革総合支援事業（タイプ3プラットフォーム型）」への
申請に伴う達成状況評価シートの作成について（依頼）
- *資料1について、参加人数の増加や文言（文量）調整など申請までに文面が変更になる可能性が
ございます。その点は委員長校・事務局にご一任いただきますよう、ご理解の程よろしくお願
い申し上げます。

プラットフォーム名：ひょうご産官学連携協議会

<p>⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進</p> <p>国際交流委員会</p>	<p>【取組1の目標】 本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上(期間中2回測定)</p> <p>参加者数 2500名以上/5年</p>	<p>【取組1】兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業(日本学生支援機構委託事業)において、大学間連携による国際交流の拠点を、兵庫国際交流会館を起点に大学キャンパス外の地域社会に形成する事を推進する。留学生と日本人学生、地域の人々が学びあう多文化共生社会に向けた場を創造する。</p>	<p>【取組1の活動指標】 各年参加者数 500名以上</p>		
<p>⑥大学教職員の研修機会の提供と交流の促進</p> <p>FD・SD委員会</p>	<p>【取組1の目標】 各年セミナー数 5件以上</p> <p>【取組2の目標】 各年参加者数 50名以上</p>	<p>【取組1】加盟校間でのFD・SDセミナーの公開 加盟校が自学で開講している多様な研修プログラムを加盟校に開放することにより、加盟校教職員に多様な研修・交流の機会を提供する。教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。</p> <p>【取組2】FD・SD情報交換会、セミナー等の開催 加盟校に有益な公開セミナーを実施することで、教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。</p>	<p>【取組1の活動指標】 参加者数 100人以上/年</p> <p>【取組2の活動指標】 開催数：3回以上/年</p>	<p>【取組1の活動実績】 加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開 2023年度：10校21件、1,674名 2024年度：2校2件、128名(8/31現在)</p> <p>【取組2の活動実績】 2023年度：3回、307名 2024年度：1回、214名(8/31現在)</p> <p>2023年度実績： ・いま一度整理しよう！令和4年度大学設置基準等の改正を学ぶ！ (2023/09/06)124名 ・中退予防におけるIR(2024/02/20)62名</p>	<p>A</p> <p>A</p>

プラットフォーム名：ひょうご産官学連携協議会

				<ul style="list-style-type: none"> ・内部質保証システムの実質化を考える～現場が動き出す！工夫と実践～(2024/03/11)111名 2024年度：(8/31現在) ・IRの基礎をダイジェストで学ぶ(2024/6/25)参加者数：214名 ・大学における生成AIの活用について考える(2024/9/4)■名 	
⑦大学間連携による多様な教育ニーズへの対応 教育連携委員会	【取組1の目標】 各年開放科目数 10科目以上	【取組1】単位互換事業の実施 加盟校において幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や加盟校の特徴を生かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施する。	【取組1の活動指標】 送り出し校数 5校/年		
	【取組2の目標】 各年プログラム数 5件以上	【取組2】多様な学修機会の提供 加盟校に通う学生等に、多様な学修機会を提供するため、本計画期間内において、段階的に加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供する(ICTを活用したコンテンツ、専門領域や分野横断型のプログラム等)。	【取組2の活動指標】 参加者数 50人以上/年		
⑧県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進 企画運営委員会	【取組1の目標】 各年参加者数 50名以上	【取組1】リカレント教育の普及促進に向けた取組 加盟校によるリカレント教育の推進・理解促進に向けたセミナー・情報交換会等を開催する。産官学で連携したリカレント教育推進に関するネットワークを構築する。	【取組1の活動指標】 大学・企業関係者による講演・意見交換会(年1回以上)		
	【取組2の目標】 各年10校以上	【取組2】加盟校のリカレント教育に関する情報発信 大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページで加盟校が開講するリカレント教育に関する取組情報を発信する。	【取組2の活動指標】 大学・企業関係者による講演・意見交換会(年1回以上)		
⑨大学資源を活用する地域プラットフォームの形成 企画運営委員会	【取組1の目標】 大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充	【取組1】大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 兵庫県下で大学間連携のプラットフォームとして、加盟校の大学資源を生かす運営体制を本計画期間内において、段階的に構築する。また、加盟校がすでに有している大学間連携・地域・地方自治体との連携体制の理解促進も図る。	【取組1の活動指標】 大学・企業関係者による意見交換会(年1回以上)		

2024年9月吉日

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
事業委員会 正副委員長 各位

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
理事長 中村 恵
(神戸学院大学学長)

「令和6年度 私立大学等改革総合支援事業(タイプ3プラットフォーム型)」への
申請に伴う達成状況評価シートの作成について (依頼)

拝啓 新秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は大学コンソーシアムひょうご神戸の活動に深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標題の件につきまして、2023年度の実績及び2024年度の実績・計画、並びに達成状況評価を記載の上、ご提出いただきますようお願いいたします。

大変お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、申請準備の関係上、9月13日(金)正午までに当コンソ事務局までご提出をお願い致します。ご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせ下さい。

当コンソの更なる発展と事業の充実のため、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

○記載をお願いする事項

様式3)の「実績」欄の記入(※1)、及び「評価・備考」欄への評価(※2)の記載

※1:対象期間は次のとおりです

2023年度実績:2023年4月~2024年3月

2024年度上期実績:2024年4月~2024年9月

2024年度下期計画:2024年10月~2025年3月

※2:評価は次のいずれかを選択してください

S:当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている

A:当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる

B:当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる

C:当初の計画について半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一定の見直しが必要である。

D:当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。

○今後のスケジュール(予定)

- ・9月2日 各事業委員会への達成状況評価シートの作成依頼
- ・9月13日 各事業委員会から達成状況評価シートの提出
- ・10月23日 第4回理事会にて申請内容の審議(共通設問、達成状況評価他)
- ・10月24日 ひょうご産官学連携協議会総会にて申請内容の審議
- ・10月31日 申請書類提出期限

以上